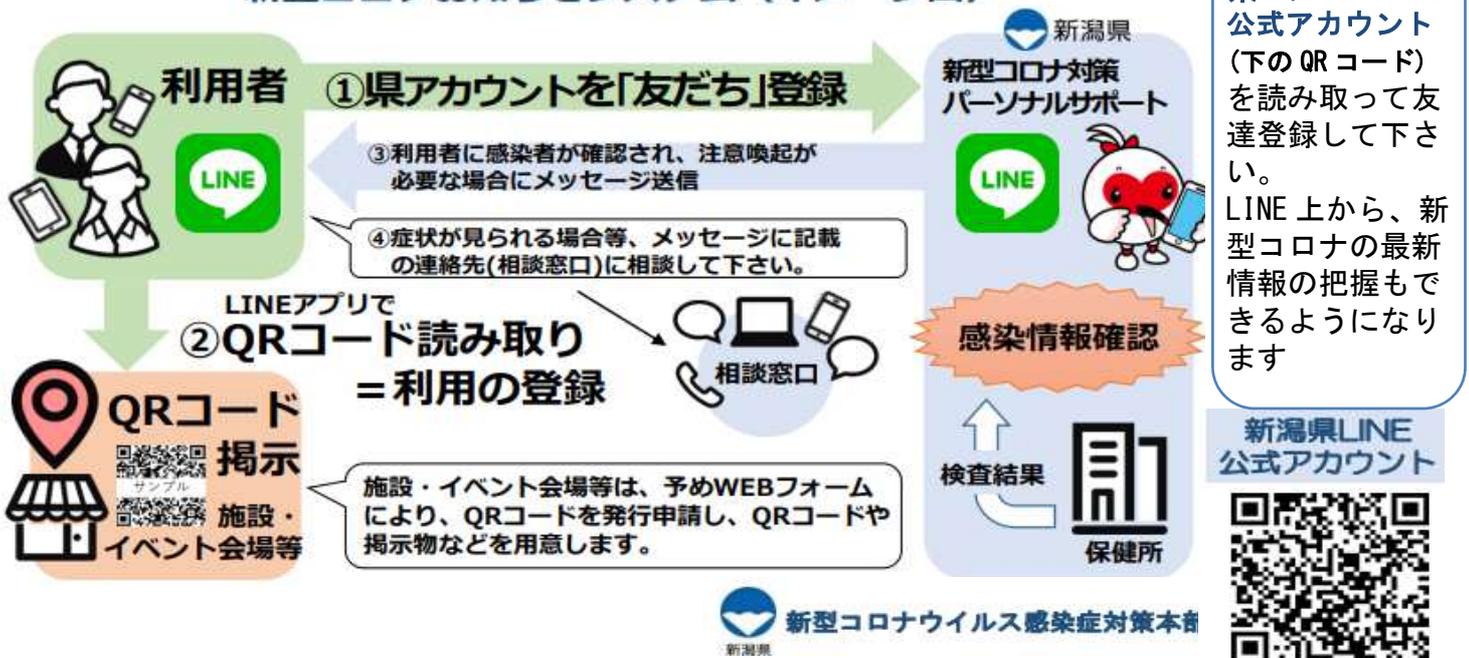


LINEを用いた“もしも”のときのサポートサービス 「新潟県新型コロナお知らせシステム」

◆新型コロナお知らせシステムとは県内の施設や店舗、イベント会場等に掲示されたQRコードをLINEアプリで読み取っていただくと、万が一施設等を利用された方に感染が判明し、感染拡大のおそれありと判断される場合などに、県のLINE公式アカウントを通じ、同じ時間帯に当該施設等を利用された方へ、LINEメッセージで注意喚起情報をお届けします。感染拡大防止と社会経済活動の両立のため、積極的に活用してください。

新型コロナお知らせシステム（イメージ図）



新型コロナウイルス感染 家族体験談

7月8月と、新型コロナウイルスの感染が、全国で拡大を続けていますが、新潟市内に於いても多くの感染者がみられます。

今回は実祭に新潟市内の家族内で感染があり家族全員が陽性になってしまったご家庭のご協力を頂き、医療機関受診から保健所の行動解除までの事例を掲載させて頂きました。

こちらのご家族は、両親と子供1人の3人家族で最初は子供が夜から発熱し翌朝から38度超えの高熱と咳があり、両親は平熱でしたが、市内の医療機関に電話で症状を伝え、念の為、家族3人で受診したら、3人とも抗体検査で陽性となりました。



「新型コロナウイルス感染家族体験」



医療機関には症状を電話で伝えてある為、ドライブスルー方式で車の窓越しで検査、診察を行いました。3人とも陽性の為、4日分の内服薬と保健所からのリーフレットをもらい、そのまま帰宅しました。

その後、医療機関からPCR検査でも3人とも陽性だった旨の連絡をもらい、県の届けは、医療機関が行い、自宅から保健所のリーフレットのQRコードより症状など細かい情報を送信しました。翌日保健所からの聞き取り調査があり、発症日から10日後に検査なしで全ての行動が解除になるとの事でした。

しかし家族全員が陽性で、買い物にも行けない為、県のホームページからの申請で数日分の食料品、日用品の支援はあったそうです。

その後、高熱（39度前後）と咳、喉の痛み、倦怠感と味覚障害が数日続きましたが、徐々に回復に向かい保健所からのリーフレットに従い、発症日から10日後に行動解除となったそうです。

こちらの両親は受診時平熱でしたが、感染していました、熱だけでは最初の感染を疑うことは出来ない事が分かりました。ここは要注意だと思います。

今回の事例のほか、家族内容（持病のある方、介護を要する家族、妊娠中、子育て中）など、状況により、医療機関、保健所の対応は異なると思いますので、各自で判断はしないで行政の指示に従うことお勧めする事と町内会の皆様におかれましては、引き続きマスク着用、手洗い、密、の回避などの基本的の感染対策にご協力をお願い致します。

「電柱3本の移設により通行が楽になりました」



秋葉1丁目7番、8番（幸清水公園裏、ルーテル教会跡地）付近の狭い道路に、3本の電柱とそれを支える1本の支柱があり、これまで車の通行や除雪車のスムーズな作業を妨げていました。

今年の3月から付近の住民が相談を始め、秋葉1丁目町内会とも協議し、町内会長名で区役所と東北電力に要望書を提出したところ、7月には電柱3本と支柱1本を移設することができました。

旧ルーテル教会の跡地に新築されたお宅とその近隣のお宅の敷地内の邪魔にならない場所へ移設ができました。2軒のお宅とも快くご協力をしていただきました。

さらにこれから、旧ルーテル教会跡地に新築した2軒のお宅の敷地の一部を削り狭い道路を拡張する計画にも、両家ともご承諾をいただいております。

高齢化が問題になる昨今です。緊急車両等がスムーズに入れることも重要になってきます。地域の協力によりさらに安心安全な町内になることを願っています。ご協力いただいたお宅の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。